

## LPガスCP情報(2018年6月積み)

### 1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 560<sup>ドル</sup> (前月比+60<sup>ドル</sup>)

ブタン 560<sup>ドル</sup> (前月比+55<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が2014年11月以来の高値で推移する中、産ガス国からの供給は潤沢、プロパンは不需要期入りながら、米中貿易摩擦の思惑から中東玉に引き合いも。ブタンは原油に連れ高のナフサ高で石化の需要が堅調、中国・台湾勢の買い意欲もみられた。市況は原油に連れ高となったが、CP先物はバックワーデーション(期先安)。

極東CFR市況は、原油市況急騰を受けて中旬には600<sup>ドル</sup>を超えたが、第4週の原油価格続落で反落、6月CPプラス10~15<sup>ドル</sup>の買い唱えで直近ではプロパン、ブタン575~585<sup>ドル</sup>どころで推移。フレート市況は、MB市況高騰で米国仕向けがみられ、中東でも船舶余剰感の解消から市況は強含んだ。

米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB:以下MB)をみると、全米プロパン在庫は不需要期と輸出一服で4月下旬以降増加に転じたものの、原油市況の急騰につられ第3週には509<sup>ドル</sup>まで上昇、月間平均では478<sup>ドル</sup>と前月比50<sup>ドル</sup>の上昇となった。

ナフサは原油市況に連れ高、月間平均は676<sup>ドル</sup>、前月比68<sup>ドル</sup>の大幅続騰。バンカーC重油も原油高を受けて高騰し月間平均で442<sup>ドル</sup>どころ、前月比45<sup>ドル</sup>高。

6月CPは前年同月比プロパン175<sup>ドル</sup>、ブタン170<sup>ドル</sup>それぞれ高い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン3ポイント、ブタン2ポイント上昇、前年同月比ではプロパン3ポイント、ブタン4ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	24.6	24.8	27.0	30.6	26.8
CP先物指標:P	515	540	570	565	548
CP先物指標:B	515	540	570	560	546

#### ② 原油市況等

WTI市況は、中東リスクを背景に年初来高値を更新し2014年11月以来の高値水準。OPEC加盟非加盟国の協調減産により、世界石油需給は均衡に向かうなか、トランプ大統領がイラン核合意からの離脱と対イラン制裁再開を表明、反米大統領が再選したベネズエラに対しても制裁強化を打ち出しイラン、ベネズエラの原油供給停滞が懸念されたが、これを補うべくロシアとサウジが6月OPEC総会で協調減産緩和検討の可能性を示唆し第4週から大幅続落。なお、米国内原油生産量は、シェール増産で2月以降日量1,000万b超え、13週連続で過去最高を更新し、5月18日には1,073万bまで増加した。EIAでは2019年の平均生産量を日量1,190万bまで増加すると予測している。米石油リグ稼働数は原油市況の高騰を受け増加を続け、直近では2015年3月以来の水準となる859基(前年同期比137基増)に達している。

一方、NYMEXのWTI総取組高は25日時点で264万枚、前月末比6万枚減少。大口投機玉の買越残高は22日時点で63.3万枚と過去最高水準を記録した前月から減少。大口投機玉の買建売は75万枚、売建玉は11.7万枚どころで推移している。手仕舞いもみられるが、過剰流動性が商品市場のボラティリティ(変動率)を高める結果となっている。

○5月積みアラビアン・ライト(5月1~30日まで)は75.585<sup>ドル</sup>(前月比+6.208<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン619.72<sup>ドル/トン</sup> ブタン611.22<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン90.36% ブタン91.62%

\*上記ALはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

## 2. 2017年6月LPガス仕切（CPコスト変動分）への影響

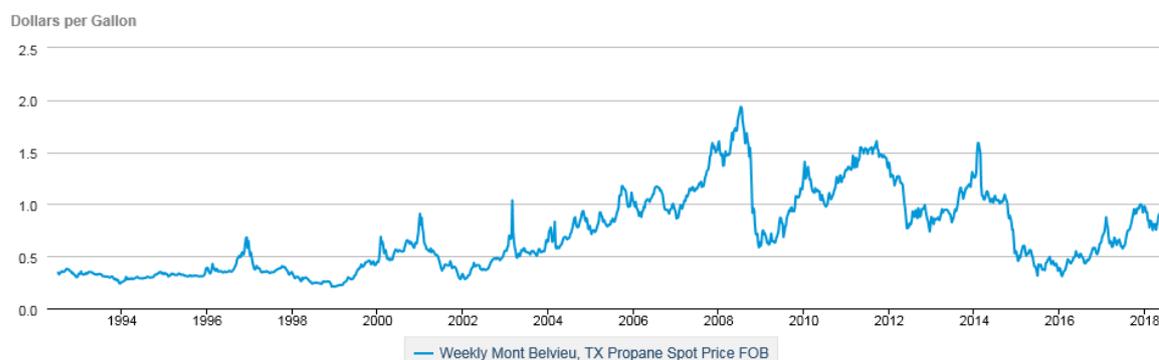
適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	110.46	63,900	64,100	65,400	+6,400	+6,700	+6,100
②末日締め	110.74	58,700	59,000	60,400	+5,800	+6,100	+6,100

\*TTS平均について、①が4月21日～5月20日、②5月1～31日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

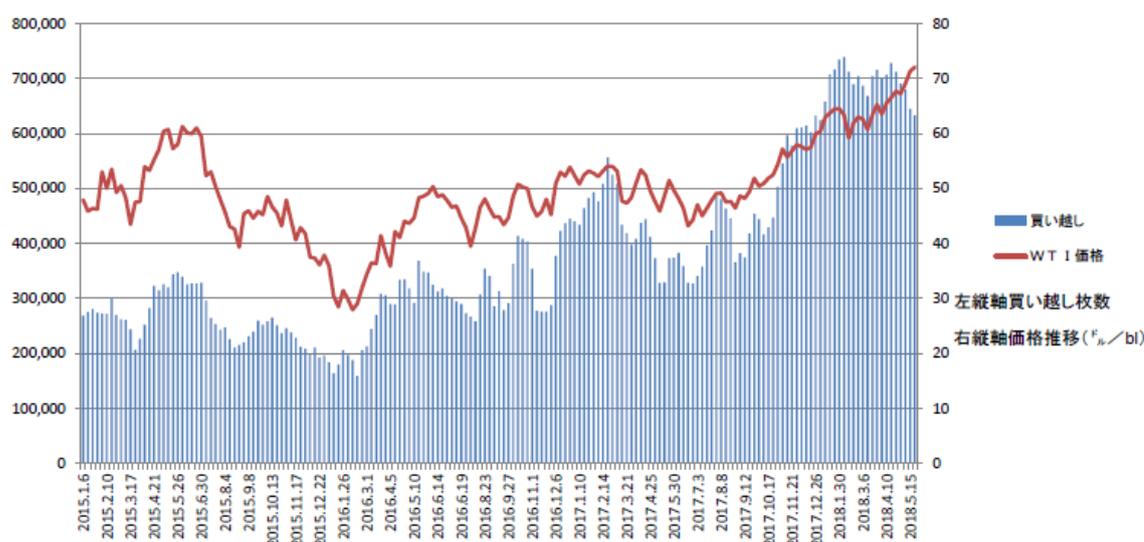
なお、上記MBは5月29日までの価格を基にEINで試算したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

Weekly Mont Belvieu, TX Propane Spot Price FOB

DOWNLOAD



CFTC大口投機建玉買い越しポジションとWTI価格推移



出典: CFTC - OIL, LIGHT SWEET - NEW YORK MERCANTILE EXCHANGE Code-067651 Commitments of Traders - Futures Only

グラフ作成: EIN